

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月26日

【評価実施概要】

事業所番号	4570200529		
法人名	社会福祉法人豊の里		
事業所名	グループホーム2ユニットひまわり		
所在地	宮崎県都城市蓑原町1839-9 (電話) 0986-25-4746		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成20年8月22日	評価確定日	平成20年9月26日

【情報提供票より】 (平成20年7月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤9人, 非常勤4人, 常勤換算5.75人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,500 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(100,000円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	386 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成20年7月18日現在)

利用者人数	17名	男性 5名	女性 12名
要介護1	2	要介護2	6
要介護3	7	要介護4	1
要介護5	1	要支援2	0
年齢	平均 81.4歳	最低 70歳	最高 95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人豊栄会、豊栄クリニック
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人内に地域密着型介護老人福祉施設や小規模多機能型居宅介護事業所などのサービスを併せ持ち、それらが近隣に併設されている事で、周辺一帯が福祉ゾーンのようになっている。当事業所は、2ユニット型のグループホームであるが、ユニット間同士の連携がうまく流れており、家庭的な雰囲気づくりを基本に、個々の人権を尊重しながら地域に開かれたホームを目指している。職員の育成にも力を入れており、計画的に研修等に参加し、サービスケアの質の向上に向けて日々研さんされている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価で課題となった項目については、全職員で検討し、改善に向けて前向きに努力されている。防災訓練など地域協力が必要な項目に関しては、引き続き努力をお願いしたい部分が残っているが、評価、運営推進会議、個人ケア等については、それぞれに問題意識を持って対処されている。
重点項目①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	まずは内部改革からという観点から、職員間で活発な意見交換を行い、「気付き」を重視した取り組みが積極的に行われ、課題解決につながっている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2か月に1回の運営推進会議においては、行政職、民生委員、家族、職員が集い、毎回活発な意見交換が行われている。事業所側が内部事情をオープン化することで会議自体の中身が濃いものとなり、それが現場の取り組みに良い影響を与えている。利用者の家族にも、会議内容を随時報告することで現状を理解してもらっている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族が職員に何でも話せる雰囲気を作るうえでも、来訪時には必ず利用者の近況報告を行い、信頼関係強化に努めている。意見箱への投稿も多くなり、家族の声や思いが事業所に届くようになってきている。このことから、職員に対する家族からの信頼度が高まっている様子が見える。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	今年度は、地域の民生委員を巻き込みながら、積極的に公民館行事や祭りなどの地域活動に参加し、逆に事業所に地域の方を招いたりするなどして、交流強化につなげている。自治会との連携については、地域密着に向けてさらに前向きな検討が望まれる。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人で掲げている「綱領」に加え、地域に開かれたグループホームづくりを目的とした事業所独自の理念を新しく作りあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「綱領」は毎日全職員で唱和し、新たに作った理念は、誰でも見えるわかりやすいところに掲示することで共有化をはかりながら、実現に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	新しく地域の民生委員になられた方を巻き込みながら地域活動等にも積極的に参加し、地域との交流をさらに深める方向で動き始めている。	○	地域の方にグループホームをより理解していただくためにも、自治会加入に向けて前向きな検討をお願いしたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価の必要性を全職員が理解し、「気付き」強化に向けて日々努力されている。		

宮崎県都城市 グループホーム2ユニットひまわり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出た意見や提案については、毎回スタッフ会議で全職員に報告し協議を行っている。また、その内容を家族にも報告し、オープン化に努めているが、運営推進会議メンバーが固定されているので、今後の話し合いの内容がマンネリ化してしまう可能性がある。	○	定期メンバーの他に、特別参加メンバーとして介護相談員や地域住民の方、学校関係者、消防団員、警察関係者など多種多様の方に参加を依頼し、意見収集の強化につなげていただきたい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政側と積極的に接触を持ち、事業所内の相談に乗ってもらったり、介護相談員に橋渡しをしてもらうなどして、顔見知りの関係作りに力を注いでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時には必ず利用者の近況報告を行っている。状況によっては、電話による報告も行い、最低でも3か月に1回は、どの家族にも連絡・報告ができるように努力している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱“ちょっと気が付きましたに数多く意見が寄せられており、何でも話せる雰囲気になっている。プライバシー保護の関係で中止していた“家族面会簿”の記入についても、家族からの要望で再開する運びとなるなど、確実に家族の声が反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	2ユニット体制でありながらも、それぞれの利用者・職員がユニット間を自由に行き来することでなじみの関係ができているため、異動におけるダメージは少ない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の職員会議や中堅職員研修のほかにも、職員それぞれの外部研修参加等の計画がきちんとなされている。資格取得に対しても、柔軟な支援体制が整っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の同業者研修（管理者・看護師・介護支援専門員）を月1回のペースで行い、知識や技術の向上に努めているが、去年まで行われていた外部同業者との交流は今年度の計画に入っていない。	○	他法人の事業者(所)との交流や連携についても、具体的な取り組みを検討していただきたい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が納得したうえでサービスを利用するために、家族と一緒に入居前体験を行ったり、職員が入居希望者宅に出向くなどして、雰囲気になじんでいただけるよう工夫がなされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	療法等（家事・作業）を通じて、支援する側と支援される側が共に家庭的な雰囲気を保ちながら、お互いに支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の事に関しては、毎朝、利用者の思いを聞き取り、日課に取り入れている。帰省願望等については、家族の協力をあおぎながら、できるだけ希望がかなうように検討・対応している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全職員で利用者一人ひとりの経過観察を密に行い、スタッフ会議やケース会議の中で本人に必要なケアについての検討や意見交換がなされている。家族の意見も取り込みながら、介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に介護計画の見直しがなされている。利用者の状況によっては、家族や関係者とも話し合いを行い、本人に必要なプラン修正が行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	2ユニットの特性を生かしながらも、それぞれのユニット職員が手をつなぎ合い、利用者全員に満足いくケアが行えるような体制を整えている。家族に代わっての通院支援なども行っており、柔軟な支援が実践されている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者のほとんどのかかりつけ医が協力医となっている。急変事対応については、連携強化に努め、早期発見・早期治療を心がけた支援が行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人内に多種多様な事業所があることで、終末期対応についてはグループホーム以外の場所でのサービスを受けられる体制になっているが、当ホームのみでの終末ケアについては今後の課題となっている。	○	この先、当ホームで、なじみの職員に看取られたいとの意向をもたれる利用者や家族が出てこられることも考えられるので、前向きな検討をお願いしたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	全職員が同じ心構えで利用者に向き合っており、常に人格を尊重した声かけや対応がなされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重し、日課に乗れない時は無理強いせず、本人の思いを取り入れた支援がなされている。		

宮崎県都城市 グループホーム2ユニットひまわり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご飯と汁物はホーム内で調理し、その他の品は法人内の給食部よりの配食となっている。季節感を重視した献立が作成され、利用者からの希望等は栄養士に届くシステムになっている。利用者とおやつ作りを楽しむ場面も設けられている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1日おきの午後からの入浴が基本であるが、ユニット間での入浴日をずらす事(1日交代)で、希望すれば毎日でも入浴可能な体制になっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	中庭を利用して野菜作りを楽しんでいたり、食事の準備・片づけの役割をお願いしたりするなど、個々人の張り合いを引き出す支援がなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の利用者の体調や精神状態を判断したうえで、散歩やドライブなどの外出を組み入れた支援が行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	最近入居された利用者の徘徊が頻繁で、全く目が離せない状況であるため、安全のための一部施錠がなされている。現在、その方の生活パターンを観察中であるが、できる限りオープンにしていく方向で努力中である。		

宮崎県都城市 グループホーム2ユニットひまわり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域を巻き込んだ防災訓練に関しては、地域の消防団に協力依頼をしているところであるが、まだ実施されていない。	○	地域と合同の防災訓練の実現に向けて、積極的に働きかけを行い、今年度中にはぜひとも実施していただきたい。また、夜間想定訓練についても早急な取り組みが期待される。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの毎日の水分・食事摂取量が詳細にわたり記録されており、職員間での確認も確実に行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ユニット間の行き来がオープンになり、共用空間の活用が活発になってきたことで、生活感あふれた居場所づくりの工夫が随所に見られる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昨年度よりも持ち込み品が多くなり、居心地よく過ごせるような配慮や工夫がなされている。		

※  は、重点項目。